

みどりとともに

第 10 号

2005年 1 月 1 日

社団法人 茨城県治山林道協会

水戸市三の丸 1 丁目 3 番 2 号

林業会館 3 階



「霞ヶ浦の帆引き舟」

◆◆◆ も く じ ◆◆◆

新年のごあいさつ	2
治山事業の歴史	3
笠間市における森林整備	4
29年ぶり、全国植樹祭が茨城県で開催	5
協会だより	6～7
臨時総会の開催・グリーンフェスティバル・関係団体連絡会懇談会	
協会の主な動き	8



新年のごあいさつ

(社)茨城県治山林道協会 会長 飯村 精造



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、2005年の輝かしい新春をお健やかに
お迎えのことと心からお慶び申し上げます。

日頃、皆様方には治山・林道事業の推進につ
きまして、格別なご支援ご協力を賜っておりま
すことに厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、「国庫補助
負担金等に関する改革案」いわゆる「三位一体の
改革」において、本協会が直接係わる治山事業が
税源移譲すべき国庫補助負担金としてリストア
ップされるなど、厳しい状況でありましたが、政府
・与党の合意によると治山事業は一部事業を除き
現制度に近い型で決まり会員の皆様にはご心配を
かけ又、ご協力に感謝申し上げます次第であります。

12月には市町村合併に伴
う会員数の減少によりまし
て、定款の一部改正が必要
となり、臨時総会を開催し、可決承認して頂きま
して、ありがとうございました。

また、本年は特に林野公共事業・市町村の合併
等、協会といたしましては厳しい環境の中、治山
林道事業のさらなる発展と充実を図り、健全な森
林の整備・保全に努め山村振興を推進して参りた
いと決意を新たにするとお告げでございます。会員
の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げますと
ともに、新しい年が希望に満ちた年になりますこ
とをご祈念申し上げ、新年のあいさつと致します。

新年のごあいさつ

茨城県農林水産部長 神山 修



謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

森林は、水源の涵養や国土の保全など安全で快
適な県民生活に大きく寄与しております。

近年は、これらの機能に加え「地球温暖化防止」
が注目されており、県としましても「森林吸収源
10ヶ年対策」として緊急間伐の推進など健全な森
林の整備を進めますとともに、木材利用推進を図
るため、「いばらき木づかいアクションプログラ
ム」に基づき、県産材を利用した木造公共施設や
公共事業における木製構造物の利用拡大など地産
地消を積極的に推進する「木づかい運動」を全県
的に展開しております。

さらに、本年6月5日には「楽しいな。森と人
とのハーモニー」を大会テーマに、第56回全国植
樹祭が、潮来市の「水郷県民の森」をメイン会場

に、大子町の「奥久慈憩い
の森」をサテライト会場に
して開催いたします。

これを契機に、県民の皆
様方の森林・林業への関心が一層深まり、森林・
林業の発展と活気に満ちた山村の形成に寄与する
ものと期待しております。

今後は、健全な森林の整備や保安林の適切な管
理・保全等を図り、森林整備保全事業計画の目標
である「安心・共生・循環・活力」という視点に
立って、創意工夫による新たな治山・林道事業を
推進してまいりたいと考えておりますので、皆様
方のお一層のご理解とご協力をお願い申し上げ
まして、新年のあいさつといたします。

『治山事業の歴史』

治山事業の目的は、基本的には「山地災害の復旧・予防」と言っているかと思いますが、昔から「山を治める」とか「山を守る」、「山を作る」とも言われており、その時代のニーズによって考え方も多少変化してきたようです。

今回は治山事業の歴史について、主だったものを追ってみたいと思います。

江戸時代には、熊沢蕃山、川村瑞軒らによって行われた禿げ山の治山工事は、治山技術の始まりとして特に有名であり、工法としては、現在の筋工に類似した工作物による「土砂留め」と、松を中心にした「植栽」が行われていました。

また、この時代の特徴は、川村瑞軒が「治水の要は治山にあり」と語ったように、禿げ山の治山工事が治水工事の一環として行われたことにあります。治山工事の動機が山地からの土砂流出による洪水の防備や、舟運の河川路の保護といった治水・利水を目的としていたため、「山を守る」と言った現代的な意味合いは弱かったようです。

明治時代には、技術的特徴として、地方における経験的・在来的な技術と海外から持ち込まれた外来の技術が並存していたことにあります。山腹工においては、江戸時代以来の経験的・在来的な技術が発達し、階段切りして芝や木本類を植栽するといった工法や、貯砂・貯水を目的とした堰堤なども作られました。

更に、この時代のもう一つの特徴は、治山技術が法制度的な裏付けにより治山事業として成立し始めたことがあげられます。明治29年の河川法と30年の砂防法・森林法などいわゆる治水3法の成立、さらにその後、明治44年の第1期森林治水事

業と昭和12年の第2期森林治水事業の計画が打ち出され、治山事業が現代的な事業体制へと移行する事になります。

戦後には、気象・土質区分に基づく施工基準や、多様な緑化工・山腹基礎工法の発明から、より現場条件に適した工法を選択できるようになったわけです。溪間工においては、ダムの堤高や設置位置を決定するための重要な要素である計画勾配の根拠となる、溪間安定勾配についての統計的研究が行われ、溪間工がより計画的に行われるようになりました。これによって治山事業は単なる崩壊地の復旧ではなく崩壊を未然に予防するといった側面が強くなってきたと言えます。

このように、治山事業を歴史的に振り返ってみると、目的や工法は刻々と変化し、近年進められている景観に配慮した工法や、間伐材利用促進のための木製構造物なども以前にはなかったものです。

治山事業はそれぞれの時代の社会的・経済的要請を含みながら、その内容を多面的にしてきたと言えるかもしれません。

今後の治山事業がどのようにあるべきか、答えを出すことは難しいものがありますが、森林の多様な機能が発揮でき、災害に強く、安全で、豊かな県土、環境づくりを目指し、先人たちの英知を引き継ぐとともに、新たな技術・工法との融合を図りながら、創意工夫による新たな治山事業を推進していきたいと思っています。

茨城県林業課 主任 国谷 直樹

笠間市における森林整備

笠間市農政課

笠間市は、茨城県のほぼ中央に位置し、東部には笠間県立自然公園、南部には吾国愛宕県立自然公園が指定されています。

市の総面積は、131.61km²であり、森林面積が7,400haで、総面積の56%を占めています。民有林面積は6,450haで、そのうちスギ・ヒノキを主体とした人工林の面積が2,900haで人工林率45%となっています。しかし、35年生以下の若い林分が約半分近くを占めており、今後、保育や間伐等を適正に実施していくことが重要となっています。



森林整備（間伐促進）

本市の森林は、地域住民の生活に密着した里山から、林業生産活動を中心とした人工林帯、広葉樹が林立する天然生の樹林帯と幅広い構成となっており、森林に対する住民の意識や価値観も多様化し、求められる機能も多種・多様となっています。

しかし、当市においても林業をとりまく環境はきわめて厳しい状況にあり、木材価格の低迷、高齢化、後継者不足などにより林業経営意欲が減退

しています。

こうした状況を踏まえ、「森林整備事業」、「間伐促進事業」、「担い手育成事業」さらに平成15年度からは「森林整備地域活動支援交付金事業」を導入し、笠間林業指導所や笠間西茨城森林組合と連携をとりながら、森林整備の普及啓蒙活動や自己保有山林の確認作業、所有者自身による山の保全管理、地域住民の里山に対する意識の向上と森林施業の促進を図っているところです。

また、森林管理や林産物搬出等を目的とした林道整備事業、「県単林道開設事業本戸前山線」（L=2,500m W=4.0m）を平成10年から平成19年までの継続事業で進めています。

森林は木材の供給のみならず、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化防止、住民の憩いの場等多くの機能を有しています。また、笠間の佐白山周辺は「いばらきの森林浴の道100選」にも選ばれています。今後の森林事業は、森林の有する多様な機能の維持増進が重要になってくると考えます。森林所有者、森林組合、その他関係機関が相互理解をし連携を図りながら事業推進に努めていかなければと考えています。



林道「本戸前山線」開設工事

森林のネットワーク

29年ぶり、全国植樹祭が茨城県で開催

茨城県全国植樹祭推進室

平成17年6月5日に、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、第56回全国植樹祭が開催されます。本県では、昭和51年に大子町と高萩市で第27回大会が開催されて以来、29年ぶり2回目の開催となります。今回の植樹祭は、「楽しいな。森と人とのハーモニー」を大会テーマに、平地林の保全と活用のシンボルとして潮来市で整備中の「水郷県民の森」をメイン会場に、大子町の「奥久慈憩いの森」をサテライト会場として、森林と人とのふれあいの重要性、都市と山村の交流、森林・林業の重要性を全国に発信いたします。参加者は両会場で12,000名を予定しています。



メイン会場（水郷県民の森）

記念式典では、両会場を衛星通信で結ぶメッセージの交換を行うほか、昭和9年に第1回愛林日の記念植樹が行われた「全国緑化行事発祥の地（真壁町）」を中継により紹介します。メインプログラムとなる「楽しいな。森と人とのハーモニー」では、大会テーマソング「緑の山」を作詞作曲した本県出身のアーティスト石井竜也氏と緑の少年団など地元の子供たちによる創作演技の披露を予定しています。

天皇皇后両陛下がお手植え・お手播きされる苗木・種子をはじめ、招待者の記念植樹用苗木につきましては、茨城県、潮来市や大子町にゆかりのある樹種、または県内の平地林や里山に分布し、広く県民の方々に親しまれ、文化や生活と関わりの深い樹種の中からタブノキやウメなど31種類を選定しました。



サテライト会場（奥久慈憩いの森）

県では今回の植樹祭を開催するにあたって、全市町村の皆さんに育てていただいた草花で会場入口を飾るウェルカムフラワーロードや、県民の皆さんに集めていただいたどんぐりを植樹用苗木として育てる「どんぐりの谷プロジェクト」、また、植樹祭への協賛などを通して、多くの皆さんに森林の大切さについて考えていただきたいと願っています。

環境の世紀といわれる21世紀に開催する今回の植樹祭を契機として、県民参加の森林づくりを一層推進し、かけがえのないみどりを次世代に引き継いでいきたいと考えておりますので、関係各位のご支援、ご協力につきまして今後ともよろしくお願いいたします。

協会だより

1. 臨事総会の開催

平成16年12月21日(火)、水戸市笠原町の茨城県市町村会館において、会員数36名、出席総数、委任状、出席を含め31名で臨事総会を開催しました。

今回の臨事総会は市町村合併の特例に関する法律による合併推進により、会員である市町村数が減少しているため、理事等の役員定数を改正し、また、合併により理事が欠員になったために開催したものです。

当日は、平間小四郎副会長（真壁町長）の開会宣言に続き、飯村精造会長（大子町長）のあいさつが行われました。

来賓祝辞は替地享二県農林水産部次長から頂きそのほか県の各関係課長など多数のご臨席を頂きました。



飯村会長のあいさつ

提出議案については、次のとおりです。

第1号議案、定款の一部改正について
(事業) 第4条に施工管理を追加
(種別及び選任)

第11条は副会長を2人を1人

理事13人を7～10人以内

監事3人を2人以内に改正

(種別) 第19条の総会・理事会に委員会を追加
(委員会)

第21条2を追加

第2号議案、補欠理事の選任については、旧山方町、美和村、緒川村並びに金砂郷町、里美村の各町村長さんの後任として常陸大宮市長の矢数浩氏、常陸太田市長の渡辺龍一氏の2名が理事に選任されました。

役員名簿

役職名	市町村名	氏名
会長	大子町長	飯村精造
副会長	真壁町長	平間小四郎
理事	波崎町長	村田康博
理事	笠間市長	磯良史
理事	千代田町長	鈴木三男
理事	北茨城市長	村田省吾
理事	常陸大宮市長	矢数浩
理事	常陸太田市長	渡辺龍一
常務理事	事務局	関育夫
監事	高萩市長	岩倉幹良
監事	七会村長	阿久津藤男



臨事総会の模様

2. グリーンフェスティバル2004

平成16年11月3日（水）那珂町の茨城県植物園外で開催された「グリーンフェスティバル2004」は第56回全国植樹祭イベントとして位置付けられ、当日、植物園には約3,000名が来園し、次の関連行事により盛大に行われました。

- ・ 林業関係各種コンクール表彰式
- ・ いばらきの森林づくりシンポジウム
- ・ 特用林産物フェスティバル
- ・ もりもくフェア
- ・ 茨城県植物園秋まつり

まず、「グリーンフェスティバル2004」は神山修農林水産部長の主催者あいさつから始まり、飯村精造県森林組合連合会長・県治山林道協会会長の来賓祝辞と続き、林業関係各種コンクール表彰式では、受賞者へ賞状と記念品が手渡され、当協会関係の林道維持管理コンクールに於いて、常陸大宮市の「矢の沢線」と真壁町の「富士根線」が（社）茨城県治山林道協会会長賞を受賞し、飯村会長から受賞者代表の常陸大宮市に授与されました。

また、「矢の沢線」は10月27日（水）、東京都千代田区の花見公園で行なわれた日本林道協会主催の林道維持管理コンクールに於いて、日本林道協会会長賞を受賞されています。



飯村会長より賞状の授与

3. 茨城県農林水産業関係団体連絡会懇談会

平成16年12月2日（木）、東京都千代田区のパレスホテルにて、初めて開催された県農林水産業関係団体連絡会懇談会は国会開催中の忙しい中、県選出の自民党国会議員8名全員と各団体役職員約40名が出席して、盛大に行われました。

懇談会は、本協会の関育夫常務の司会により県農協中央会の廣木昇会長のあいさつから始まり、県農業会議の葉梨衛会長を座長に農業・畜産・林業・水産業分野から課題提起や要望事項を説明しました。

林業分野では、県森林組合連合会副会長理事の平塚修（那珂森林組合長）が森林の整備・保全の推進により、地球温暖化の防止・温室効果ガスの6%削減目標達成には、3.9%を森林吸収量としての森林の役割が重要であり、そのためには、採算の採れる木材価格で地域材の利用拡大・促進が必要であると説明しました。

各分野の代表者の説明のあと、8名の国会議員の方からあいさつと意見を頂きました。あいさつの中で現制度における治山事業の重要性を強調する議員の方々もいました。

その後、場所を替えて懇親会に移り、各議員・各団体役職員と積極的に意見・情報の交換を行い、とても有意義な関係団体懇談会でありました。



県選出の国会議員の方々

協会の主な動き

- ★ 7月7日～8日
第25回関東甲静地区治山林道協会連絡協議会
通常総会（栃木県）
- 7月12日～13日
都道府県森林土木コンサルタント連絡協議会
治山林道技術研修会（東京都）
- 7月14日
治山林道コンクール審査打合せ（水戸市）
- 7月20日
奥久慈グリーンライン林道「諸沢線」竣工式
（山方町）
- 7月22日～24日
役員現地研修会・第2回理事会（長崎県）
- ★ 8月4日
茨城県関係団体役員懇談会（水戸市）
- 8月10日
㈱日本治山治水協会理事会・通常総会
（東京都）
- 8月12日
第34回全国林業者大会茨城県実行委員会
第2回総会（水戸市）
- 8月17日
治山林道コンクール審査会（水戸市）
- 8月20日
林業雇用改善セミナー（水戸市）
- 8月26日
8月期公益法人定例講座（東京都）
- 8月30日
治山林道事業要望活動・関東甲静地区
常勤役員会議（東京都）
- ★ 9月3日
第1回治山技術基準等打合会議（水戸市）
自民党政務調査会「農林水産部会」（水戸市）
- 9月16日
全国治山林道協会会長会議（東京都）
民有林振興会セミナー（東京都）
- 9月22日
第3回理事会（水戸市）
- 9月25日
県民参加の森づくり推進事業（潮来市）
- ★ 10月5日
第56回全国植樹祭説明会（水戸市）
- 10月14日～15日
全国治山林道協会常勤役職員会議（兵庫県）
- 10月21日
第41回全国林材業労働災害防止大会（栃木県）
- 10月24日
第28回全国育樹祭（徳島県）
- 10月27日
日本林道協会通常総会（東京都）
治山・林道コンクール表彰式（東京都）
2004治山・林道のつどい（東京都）
- 10月28日
北関東・南東北地区公益法人実務研修（栃木県）
- 10月29日
茨城県農林水産業関係団体連絡会事務局会議
（水戸市）
- 10月30日
県民参加の森づくり推進事業（水府村）
- ★ 11月3日
グリーンフェスティバル2004（那珂町）
- 11月9日
地球温暖化防止緊急市民集会（東京都）
- 11月10日
茨城県農林水産業関係団体連絡会事務局会議
（水戸市）
- 11月21日
みどりの羽根チャリティーゴルフ（常陸大宮市）
- ★ 12月2日
茨城県農林水産業関係団体連絡会懇談会
（東京都）
- 12月15日
第34回全国林業者大会茨城県実行委員会
第3回幹事会（那珂町）
- 12月16日
平成17年度林野公共事業推進本部（東京都）
- 12月21日
臨時総会（水戸市）

「みどりとともに」

（年2回 発行）
社団法人 茨城県治山林道協会
編集・発行 飯村精造
水戸市三の丸1丁目3番2号
林業会館3階
TEL 029-225-7280
FAX 029-225-7582
<http://business2.plala.or.jp/iba-crk>
e-mail:chisan@atlas.plala.or.jp